

# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

89.11.29 No. 3122

動労千葉結成10周年!



## 11-23 総決起集会で宣言 清算事業団闘争を軸に 交流センター一万人の獲得

### 戦国時代を迎えた 労働戦線

十一月二一日、総評は三十九年の歴史を閉じ、労使協調、侵略戦争協力の新連合に吸収・合併された。  
一方、統一労組懇は、全労連へと分裂していった。  
だが、問題の核心は、新連合にも全労連にもいかな、いけない四百万労働者と未組織四千万人、パート、女性労働者三千万人の怒りと「現状変革」の渴望に本当に

えるたかといと、新たな潮流の登場こそが求められていることである。「全国交流センター」はこうした歴史の要請に応える気迫をもって十一

### 自力・自衛・連帯こそ 勝利の道

十一月二三集会では、動労千葉田中書記長の決意表明をはじめ、二名の清算事業団の仲間(国労)からの訴え、日の丸・君が代の天皇制教育と対決している教育労働者や、自治労、民間の仲間等々からの熱のこもった発言は全参加者の心をとらえた。  
風雲急を付ける三里塚からは北原事務局長が駆けつけ連帯を表明。反戦

月二三日、スタートした。新連合、全労連とも内と外からの「反乱」におびえている。われわれは、病める「巨象」に新連合に自らの未来を託すことはできない。自力・自衛・連帯の旗のもと、闘う新たな全国潮流の形成をもって労働者の未来を切りひらくことをきっぱりと宣言したのである。

・反核・原発をたたかい、すべての差別を許さずたたかうことをがっちり確認した。  
最後に、中野委員長は、まとめて清算事業団闘争を軸に、「教育」「自治労」など、現場からの総決起をつくりだそう。確信をもって当面、一万人の獲得にまい進しよう、と訴えられ、参加者は胸を熱くし、全国に散った。

# 11/30 総決起集会!

労働者福祉センター 18時



## JR当局の横暴許さず 要求を貫徹しよう

# 明日(30日)第2波ストへ

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!